

千葉県建築文化賞創設15周年記念特集

千葉県建築文化賞の15年

千葉県建築文化賞選考委員会委員長 北原 理雄

千葉県建築文化賞が創設されたのは、バブル景気の余韻が冷めやらぬ1994年であった。1960年に230万人だった千葉県の人口は、30年の間に2.5倍に跳ねあがった。この間、県内の建築活動は急増するニーズへの対応に追われていたが、1990年代に入ると人口の伸びが緩やかになり、基盤の充足も進み、公共・民間いずれの領域においても建築の質的向上への関心が高まっていた。

建築文化賞は、このような社会情勢を受け、すぐれた建築物を表彰することにより、建築文化、居住環境に対する県民の意識を高め、うるおいとやすらぎに満ちた快適な街づくりを推進することを目的に発足した。

当初の建築文化賞には「景観に配慮した建築物」と「高齢者・障害者に配慮した建築物」の2部門が設けられた。これは、急速な開発によって混乱した景観を整えることと、効率優先の環境を生活者重視の環境に切り替えることが、緊急の要請になっていたためである。

その後、1998年に「環境に配慮した建築物」の部を設け、2005年に「高齢者・障害者に配慮した建築物」を「ユニバーサルデザインに配慮した建築物」の部に改めた。これらは、地球環境問題への関心が高まり、より広範な利用者への配慮が求められるようになった社会的要請に応えたものである。

建築文化賞の応募件数は、第1回の192件を除いて、ほぼ60～100件の間で推移してきた。しかし、近年は減少傾向にあり、最近2回は60件を割り込んでいる。背景には景気低迷や建築基準法改正の影響があるが、県内の建築水準は決して落ちていないので、建築文化のさらなる振興のためにも、多くの応募をお願いしたい。

景観に配慮した建築物の部は、例年、応募件数の6、7割を占めている。初期の応募は民間の豪華な建物が多かったが、1990年代末から質の高い公共施設の応募が目立つようになった。近年は、公共・民間ともに、中小規模の建築物で、地域の景観形成にこまやかな心配りをしている例が印象に残る。

また、景観部門では本年度から、継続活動によって景観の維持・向上を実現している建築物群を対象に加えた。その第1回として香取市佐原歴史的景観形成地区を建築文化賞に選定したが、これを契機に各地で景観形成が点から線、そして面へと展開していくことを期待している。

ユニバーサルデザインに配慮した建築物の部は、当初、高齢者・福祉施設の応募が多く、一般の建築物では、単に段差をなくし、斜路や手摺りをつけるなど、マニュアルどおりの設計をただけの例が目についた。しかし、近年はユニバーサルデザインへの配慮が行きわたり、高齢者・福祉施設では“住まい”として高い水準を達成している例が増えている。応募件数の低迷は、ユニバーサルデザインがあたりまえのものになったことの反映であろう。しかし、一桁の応募件数はやはりさびしい。

環境に配慮した建築物の部は、安全安心で健康快適な性能を備えた建築物を整備促進することにより、地域環境の保全をはかることを目的に設けられた。建築物である以上、技術的解決が必要であることはいままでもないが、授賞作品を振り返ると、過度な技術的解決より、自然との共生をはかる建築物に印象深い例が多い。

この15年、社会情勢はめまぐるしく変転した。いま100年に一度といわれる世界的不況のなかで、建築をとりまく状況は一段ときびしいが、このような時代にこそ質の高いストックを形成することが重要である。千葉県建築文化賞が、今後とも千葉県における建築文化を守り育てる一助となることを願っている。

千葉県建築文化賞過去表彰作品の紹介

第1回 (1994年)



撮影／浅井慎平

海岸美術館
(景観)

建築主：(株)モスフードサービス
設計：(株)石井和雄建築研究所
施工：大成建設(株)千葉支店
所在地：南房総市千倉町川戸柏尾550



南花園の家
(景観)

建築主：K氏
設計：(株)カトーアソシエーツ
施工：三建建築創作(株)
所在地：千葉市花見川区南花園



**竹中工務店
技術研究所**
(景観)

建築主：(株)竹中工務店
設計：(株)竹中工務店
施工：(株)竹中工務店
所在地：印西市大塚1丁目5-1



**鴨川市総合
保健福祉会館**
(高齢者・障害者)

建築主：鴨川市
設計：(株)榎本建築設計事務所
施工：清水建設・富士建工業共同企業体
所在地：鴨川市八色887-1



**中銀
ライフケア白井**
(高齢者・障害者)

建築主：中銀マンション(株)
設計：(株)新居千秋都市建築設計
施工：(株)フジタ東京支店
所在地：白井市堀込



市川の家
(高齢者・障害者)

建築主：K氏
設計：KATO建築設計室
施工：(株)第一工務店
所在地：千葉市市川市新田

撮影／秋山実

第2回 (1995年)



千葉市立打瀬小学校(景観)

建築主：千葉市
設計：シーラカンズ

施工：銭高・松栄共同企業体
所在地：千葉市美浜区打瀬1丁目

新しい街が生まれ、同時に千葉市立打瀬小学校が1995年に完成した。オープンスクール形式、低層街区型、街に開かれた学校は熱心な教育もあって最大限に活かされ、この学校の魅力が新たな住人を引き付け、街は大きく発展している。打瀬小学校での提案は、この街の小学校の伝統として、3校目の美浜打瀬小学校まで引き継がれている。
(シーラカンズ)



**千葉市美術館・
千葉中央区役所**(景観)

建築主：千葉市
設計：(株)大谷研究室
施工：清水・西松・ナカノ・三菱共同企業体
所在地：千葉市中央区中央3丁目



パティオス
(景観)

所在地：千葉市美浜区打瀬2丁目



**雇用促進事業団ポリテクセンター
千葉研修寮**(高齢者・障害者)

建築主：雇用促進事業団千葉職業能力開発促進センター
設計：(株)榎本建築設計事務所
施工：長谷工・青山建設共同企業体
所在地：千葉市若葉区愛生町165-2



撮影／廣田治雄

**厚生年金
サンテール千葉**
(高齢者・障害者)

建築主：千葉県
設計：(株)日本設計
施工：安藤・三井・福田・鈴木建設
工事共同企業体
所在地：千葉市中央区仁戸名682-67



剱持邸
(高齢者・障害者)

建築主：K氏
設計：加瀬澤建築設計室 加瀬澤文芳
施工：大坪清次
所在地：木更津市高砂

第3回 (1996年)



千葉県立幕張総合高等学校
(景観)

建築主:千葉県
設計:(株)榎本建築設計事務所
施工:戸田・鉄建・富士工・石川特定建設工事協同企業体
奥村・新日本・式田特定建設工事共同企業体
松栄・杉田特定建設工事共同企業体
所在地:千葉市美浜区若葉3-1-1

撮影/新建築写真部

この学校のもっとも象徴的な部分は、多様性を持ったループ型の平面上に展開する、大胆な開口や吹き抜けによる断面的な透過性の高さではないかと思う。いわば横にも縦にも繋がり合った連係的な構成によって、その空間の中に映り込む生徒たちの賑わいや自由・活発な学校環境を直感的に読み取ることができる。

(榎本建築設計事務所)



撮影/エスエス東京石井哲夫

印西市中央駅北
コミュニティセンター(景観)

建築主:印西市
設計:(株)日建設計
施工:住友建設(株)
所在地:印西市木刈4-3



千倉・海の住宅(景観)

建築主:S氏
設計:(有)黒木実建築研究室
施工:加藤工務店 加藤 清
所在地:南房総市千倉町瀬戸



撮影/ABE工房

西川邸(高齢者・障害者)

建築主:NE氏
設計:(株)榎本建築設計事務所
施工:新日本建設(株)
所在地:市原市菊間



船橋の家(高齢者・障害者)

建築主:N氏
設計:(有)アトリエCOSMOS
施工:(有)持井工務店
所在地:船橋市高根台

第4回 (1997年)



かずさアカデミアホール
(景観)

建築主:千葉県
設計:(株)坂倉建築研究所
施工:(株)竹中工務店・三井建設(株)・(株)越高組
所在地:木更津市矢那1637

ここ5年間の年平均利用件数は約1360件、開館から9年を経た平成17年度には累計1万件を超えるなど、多くの市民や産学官の方々に利用され、国際会議や学会を通じて産業振興に、音楽コンクールやセミナーを通じて地域文化の振興に貢献している。平成16年にはその利用状況が評価され、第9回公共建築賞優秀賞を受賞している。

(坂倉建築研究所 横田重雄)



大多喜町立
大多喜小学校
(景観)

建築主:大多喜町
設計:(株)榎本建築設計事務所
施工:(株)屋代工務店・式田建設工業(株)
所在地:夷隅郡大多喜町大多喜12



撮影/ナカサ&パートナーズ 繁田諭

和洋女子大学
佐倉セミナーハウス(景観)

建築主:学校法人和洋学園
設計:ナンシー・フィンレイ+千葉学
/ファクターエヌアソシエイツ
施工:戸田建設(株)
所在地:佐倉市ユーカリが丘5-4-1



撮影/小林浩志/スパイラル

木更津の家(大澤邸)
(景観)

建築主:O氏
設計:濱田昭夫
(TAC濱田建築設計事務所)
施工:(株)新昭和
所在地:木更津市清見台



撮影/(有)アラ井建築写真事務所

浦安市
当代島公民館
(高齢者・障害者)

建築主:浦安市
設計:(株)久米設計
施工:西松建設(株)
所在地:浦安市当代島2-14-1